

平成 29 年度 学校経営計画

七尾市立山王小学校

1 教育目標 「心身ともに健やかで、自ら課題を発見・解決する児童の育成」 キーワードは「健やか」「自分から」「課題発見・解決」

21世紀に求められる人材は、「正解」よりも「最適解」を導き出せる人材です。それを踏まえ、学習指導要領が改訂されます。その視点は「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」ということであり、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力や人間性など情意・態度等に関わるものの全てを、いかに総合的に育てていくか」ということです。私たち教師は求められる人材像を的確に捉え、その育成に力を注いでいく使命があります。そのため、教職員一同、一致協力し、家庭・地域と力を合わせることが大切です。安易な前例踏襲はせず、全員が学校経営参画意識を持ち、同じベクトルで取り組むことが学校経営ビジョンを具現化することにつながると考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 教育方針

- (1) 国・県・市がめざす学校教育ビジョンの方向性を踏まえ、心身ともに健康で、自ら課題を発見し、解決しようとする児童をこれからの社会に活かす力を身につける児童の育成を目指す。
- (2) 教育目標の実現に向けて、教職員は常に研鑽を積み、自己の指導力向上を目指す。また学校の組織の一員としての自覚を持ち、すべての職員ですべての児童を育てる意識を持つ。

3 中・長期的目標

- (1) 授業改善：「いしかわ学びの指針12か条+」を踏まえて、学力向上ロードマップをいかして、自ら課題を発見・解決することができるようになるために、基礎基本、活用力を育成し、実践させる。そのために分かる授業づくり・学習基盤づくり・組織的な指導改善に努める。
- (2) 生徒指導の充実：社会に生きる人間として求められる責任やモラルを身につけ、人を思いやる温かい心を持った児童に育てる。
- (3) 健康でたくましい体作り：自分の体や安全に関心を持ち、健康でたくましい体を作ろうとする児童を育成する。
- (4) 信頼される学校：常に開かれた学校を目指し、保護者や地域に信頼され、連携のとれた学校づくりを行う。

4 めざす学校像：信頼される学校

◇ふるさと教育の充実

- ①環境教育活動を通して、自然愛や郷土愛を育む。
- ②伝統文化を継承する体験学習を通してふるさとに対する誇りを持たせる。

◇開かれた学校づくり

- ①様々な機会や方法で、学校の取組を保護者や地域に責任を持って報告する。
- ②学校評議員の意見や学校評価を真摯に受け止め、学校運営の改善に努める。
- ③七尾東部中学校及びその校区の4つの小学校、山王校区の保育園との連携を図る。
- ④地域の方々に授業を初め教育活動全般に関わっていただき、教育の深まりを目指す。

◇職員の学校運営組織への主体的な参画

- ①組織の一員であることを常に忘れず、「チーム山王」として、それぞれの立場やその責務を自覚し、主体的に職務にあたる。
- ②教員自身が教育環境の一部であることを自覚し、時間を守り、服装や態度にも留意する。
- ③前例を踏襲するのではなく、改善した取組や、新しい試みを提案・実践していく。
- ④「報告・連絡・相談・記録」を怠らない。

◇教育環境の整備

- ①児童の安全確保のため、定期的に安全点検を実施し、安全管理の充実を図る。
- ②児童の学習効率の向上のために、学級や特別教室の整備や掲示の工夫をする。
- ③見えないカリキュラムの児童への影響を意識し、整理整頓に努める。

5 めざす子どもの姿

- たくましく 元気な子 [体と心の強さを持った、たくましい子]
- 仲良く 心の豊かな子 [互いのよさを認め、力を合わせて活動できる子]
- よく励む かしこい子 [知恵と工夫を使い、課題を発見・解決し、実践する子]

6 めざす教職員像

- たくましく 元気な教師 [やる気と情熱を持ち、教育にあたるたくましい教師]
- 仲良く 心の豊かな教師 [組織の一員として責任感や協調性のある教師]
- よく励む かしこい教師 [知恵と工夫を使い、授業改善を続ける教師]

7 重点目標と努力目標

(1) 授業改善：課題解決に必要な「確かな学力」と「豊かな学力」・学ぶ意欲

◇わかる楽しい授業づくりの工夫

- ① 「確かな学習」として基礎・基本を徹底して身につける。
- ② 「豊かな学習」として『山王学習スタイル』を継続し、活かす学力の育成を図る。学び合いの質を高める（主体的、対話的で深い学び）ために、アクティブラーニングを意図的に取り入れた授業作りを試みる。
- ③ 「振り返り」を授業に位置づけ、メタ認知力を高めるとともに、次につながる評価を工夫する。
- ④ ICTを積極的に活用し教育効果をあげる。
- ⑤ ワークスペース、学習室を活用し、調べたくなる、学びたくなる学習空間を創出する。

◇学校図書館の充実と読書指導の推進

- ① 年間を通して朝読書の時間を設定し、集中して読書に取り組みさせる。
- ② 「読み聞かせ」や「ブックトーク」等を充実させ読書の楽しさを味わわせる。
- ③ 授業での利用を含め、学級担任と連携し、図書館利用を推進し、児童の読書量を増やす。
- ④ 並行読書を国語科の単元計画に位置づけ、単元を通した言語活動の充実を図る。

(2) 生徒指導の充実：責任とモラル、思いやりの心

◇一人一人を大切に生徒指導

- ① 授業と学校教育活動全体の中で生かす「生徒指導の三つの視点」。**【自己決定】【共感的理解】【自己存在感】**
- ② いじめ問題対策チームを核に、いじめ防止や早期発見・早期対応・再発防止に向けた取組みを計画的に行う。
- ③ アンケートやQ Uテスト、面談を通して、子ども一人一人の個性や人間関係を把握し、常に全職員で全児童を育てていく。

◇日常生活の規律の遵守

- ① あいさつと無言清掃の徹底を図り、心を磨く。
- ② 常に「山王っ子宣言」を意識させ、規範意識の醸成を図る。

◇道徳教育の推進

- ① 問題解決や体験的な学習を取り入れ、「考え、議論する」道徳教育を推進する。
- ② 道徳教育推進教師を中心に、「道徳の時間」の充実を核として、教育課程全般において善悪の判断能力を高め、互いの良さを認め尊重しあう心情を育てる。

◇特別支援教育の推進

- ① 児童の実態を正確に把握し、一人一人のニーズに応じた支援を行う。(合理的配慮への理解)
- ② 全校児童に思いやりの心や、ともに生きる心の育成を図る。
- ③ 特別支援コーディネーターを中心に、全教職員で研修し共通理解を図る。

(3) 健康でたくましい体作り：健康でたくましい体

◇保健体育と安全教育の推進

- ① 体力向上や運動能力向上を図り、児童に伸びを実感させる。
- ② 児童が意欲を持って取り組む、朝マラソン、スポチャレや体力アッププランを実施する。
- ③ 食育を重視し、家庭との連携の中で望ましい食習慣を身につけさせる。
- ④ 保健・安全指導の充実をはかり、自ら健康や安全に留意する能力や態度を養う。

◇校舎内外の安全対策の推進

- ① 危機管理マニュアルの整備など、有事の際の対処法を確立しておく。
- ② 定期的に校内の安全点検を行い、事故の原因を作らない。
- ③ 各種避難訓練等を通して、自ら自分の身を守るという安全意識の啓発を図る。
- ④ 家庭・地域・警察等との連携により児童の安全確保を図る。